



晩秋の候、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。  
今月号は、形成外科宮崎医師からの眼瞼下垂の治療についてご紹介させていただきます。

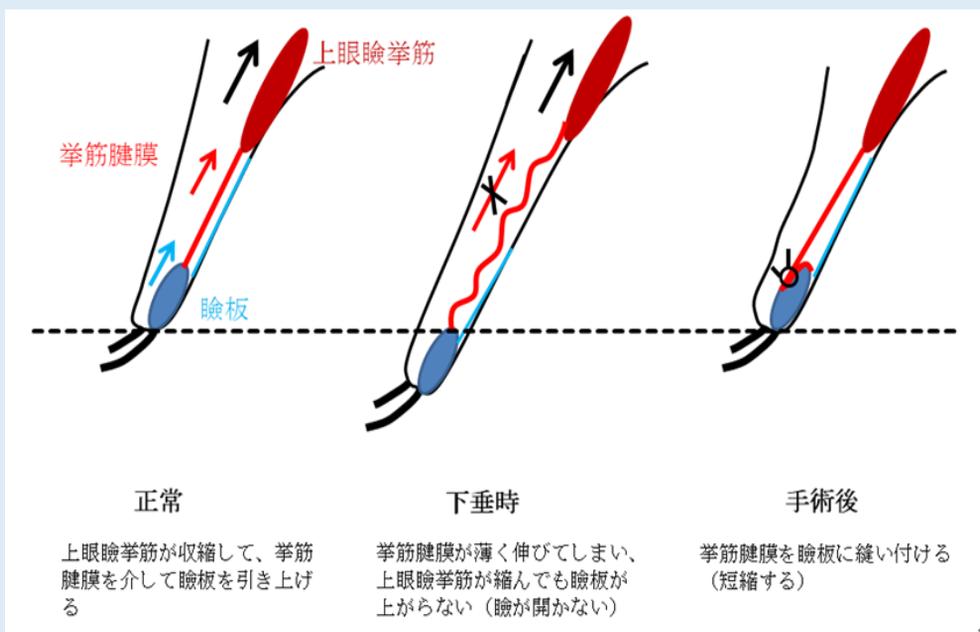
## 形成外科：眼瞼下垂症について

眼瞼下垂は、見た目上、黒目の見える範囲が狭くなっていることで診断します。患者さまの主な自覚症状は、上方視での視野障害です。

眼瞼下垂に対しては、主に以下の3つの手術方法があります。

### ◆挙筋短縮（前転）術

瞼を持ち上げる構成要因である挙筋腱膜が、加齢や長期ハードコンタクトレンズ装着が原因で、弛緩します。これを縫い縮めることで上眼瞼挙筋の収縮力が伝わるようにする方法です。



### ◆眉毛下皮膚切除術

開瞼自体は問題ないが、上方より緩んだ皮膚が覆い被さることで視野が妨げられている場合に行う方法です。

### ◆筋膜吊り上げ術

上記方法では視野の獲得が困難である場合や生まれつき挙筋機能が低下している場合は、大腿筋膜や側頭筋膜等を利用して上眼瞼を引き上げます。

※上下眼瞼の内反症やそのほかにも眼瞼周囲の皮膚腫瘍や霰粒腫などの手術も行っています。

手術の適応に関しては、患者さまによって異なります。

上記疾患などでお困りの方、疑わしいと思われる患者さまがおられましたらご紹介いただければ幸いです。よろしく願いいたします。



当院は地域医療の拠点病院として、今後も地域医療に貢献していく所存です。何卒宜しくお願いいたします。

# 糖尿病センター：看護指導の充実に取り組んでいます！



教育入院される患者さまの中には、退院後の生活に戸惑いを感じて不安に思われることがあります。そこで、入院中に関わった病棟看護師が引き続き外来看護指導を行い、戸惑いや悩みが軽減されるよう支援しています。また、病棟看護師と外来看護師の連携を図り、外来患者さまのカンファレンスを定期的に行い、「より良い支援は何か」を話し合っています。

外来看護指導をさらに充実させるため、透析予防指導やフットケア外来にも参加しています。これらは継続した支援を行う必要があります。病棟に関わった患者さまへ引き続き外来での指導を行うことも少なくありません。

外来・病棟が連携を行い、切れ目のない、より質の高い看護支援を行っていただけるよう邁進してまいります。

病棟看護師

連携

外来看護師

定期的カンファレンス

## 眼科：検査部門の紹介

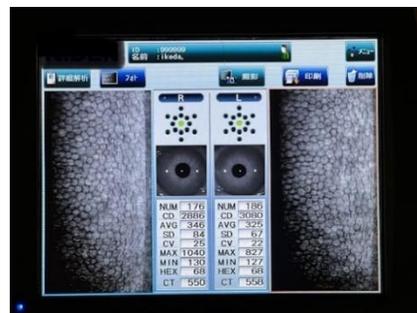
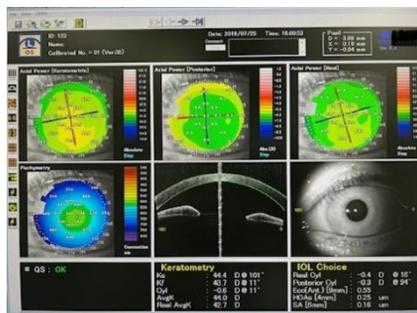
当科では、地域の先生方のご紹介で多くの患者さまが白内障の手術を受けられています。視能訓練士が行う術前検査は、眼内レンズ度数の決定に重要な光学式眼軸測定、精密な乱視測定や前眼部断層撮影のための前眼部OCT、手術可否の目安となる角膜内皮細胞検査のほか多岐にわたります。

眼内レンズには、単焦点レンズと多焦点レンズがあります。ホームページにも掲載されておりますように、当科は選定療養認定施設として多焦点眼内レンズにも対応しています。ご希望の患者さまがおられましたら、適応などについて医師とご相談いただけます。地域医療連携室を通してご予約ください。

光学式眼軸測定

前眼部OCT

角膜内皮細胞検査



今月の一品

きんぴらー  
ごぼう



材料(2人分)

- ごぼう 1本(200g)
- 人参 1/2本(100g)
- ☆醤油 大さじ2
- ☆砂糖 大さじ1
- ☆みりん 小さじ1
- ごま油 大さじ1/2
- すりごま 小さじ1

### 【作り方】

- ① ごぼうは皮をむき、ピーラーで薄切りにし、水にさらしてアクを抜く。
- ② 人参は皮をむき、ピーラーで薄切りにする。
- ③ ごま油でごぼうと人参を炒める。しんなりとしてきたら☆を加えさらに炒める。
- ④ 皿に盛り、お好みですりごまをふりかける。

弾力があり、太さが均一で、先端が緩やかに細くなっているものが良いゴボウです。表面がかたくしまっているものを選びましょう。